

## 第6回沼津市議会定例会

### 一般質問

\* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和6年9月24日、25日、26日

令和6年9月24日（火）午前10時から			
順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
1	6番 大草満  *一括方式	1 市内都市公園の整備、管理について (1) 都市公園の設置が少ない地域への開設の取組について (2) 都市公園の管理、整備の体制について ① 都市公園の管理体制 ② 中核となる都市公園における施設や環境の整備 ③ 都市公園のルール作りの見直し ④ 都市公園における民間活力活用の可能性	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
2	23番 渡部 一二実  *一括方式	<p>1 本市男性職員の産後パパ育休を含む育児休業の取得率維持・向上と市内中小企業へ横展開させる戦略立案について</p> <p>(1) 令和5年度における育児休業取得率及び他市との比較並びに令和6年度8月末までの育児休業取得見込み</p> <p>(2) 令和5年度の産後パパ育休期間（子の出生の日から57日間以内）における育児休業取得実績</p> <p>(3) 高い水準にある産後パパ育休を含む育児休業取得率を維持・向上させる戦略</p> <p>(4) 本市の取組実績及び取組成果を市内中小企業へ横展開させる戦略</p> <p>2 ワーク・ライフ・バランス実現のためのテレワークの活用促進について</p> <p>(1) 本市におけるテレワークに対する認識</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大が続いた令和3年度及び令和4年度における在宅勤務の活用状況</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行した令和5年度以降におけるテレワークの活用促進</p> <p>(4) 市内中小企業等へのテレワーク導入支援の取組計画</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
3	25番 渡邊博夫  *一括方式	<p>1 人間力を磨く教育に資する教育環境について</p> <p>(1) 学校規模・学校配置の適正化の取組</p> <p>① 教育環境の整備と質のさらなる充実に向けた取組状況と今後の展望</p> <p>② 「学校の未来を考える会」で重視している視点</p> <p>③ 第二中学校区での取組における課題の認識と今後の対応</p> <p>(2) GIGAスクールの成果と今後の取組</p> <p>① 「令和の日本型学校教育」実現に向けた1人1台端末の活用状況</p> <p>② 学校教育における端末等ICT機器導入の成果と評価</p> <p>③ 「誰でも使いやすいデジタル環境」構築に向けた今後の取組</p> <p>2 認知症基本法を踏まえた高齢者福祉について</p> <p>(1) 認知症のある高齢者等が安心して暮らせるまちづくり</p> <p>① 認知症高齢者等に対する取組</p> <p>② 認知症への理解を深めるための普及・啓発の取組</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムを支える地域包括支援センター</p> <p>① 相談の件数の推移と相談内容の傾向</p> <p>② 地域包括支援センターの体制及び職員の資質向上</p> <p>③ 多様化する高齢者世帯への取組</p>	市長 教育長 関係部長

令和6年9月24日(火) 午後から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
4	16番 小澤 隆  *一括方式	1 特産品のブランド化について (1) ブランド化させたい特産品の選定 (2) ブランド化に関する指標について ① ブランド化の定義・目標 ② ブランド化の目的設定 ③ セグメンテーションとターゲティング (3) マーケティングリサーチ ① 消費者、生産者に対するアンケートやインタビューの実施 ② 市場データ分析 ア 市場データ、ベンチマーク、競合する商品の研究 イ SWOT分析 ③ フィードバックの収集と改善策の策定 (4) ブランド化に向けた具体的な手法 ① ストーリーテリングや歴史の活用 ② WEB、SNSの活用や有名店舗との連携などによるプロモーション ③ 観光への活用 ④ パッケージング ⑤ 国際市場への展開	市長 関係部長
5	15番 井原 三千雄  *一括方式	1 伊豆との新たな交流に向けて (1) 大平地区のまちづくりについて ① 治水対策の推進 ② 市街化区域編入と農業振興 ③ 国道414号静浦バイパスなどの今後の展開 ④ 伊豆との新たな交流の始まり 2 広域観光連携について (1) 近接地型と遠隔地型	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
6	9番 小泉宣子  *一括方式	1 市立中学校における部活動について (1) 部活動の地域移行について ① 進捗状況 ② これまでの実証事業に対する効果と課題に対する認識 (2) 新たな地域クラブ活動「ヌマカツ」の推進 ① 競技志向と生涯志向を分けることに対する考え方 ② 休日移行における地域・民間クラブ等の受皿の創設支援の在り方 ③ 平日移行における子どもたちの居場所となる学校単位での活動の考え方 ④ 今後の動きを不安視している児童生徒・保護者への周知 2 自治会活動について (1) 市からの依頼事項に係る自治会役員の負担軽減への取組 (2) 広報ぬまづの配付に係る負担軽減について ① 現状の取組 ② 自治会役員の負担軽減に対する認識 (3) デジタル回覧板導入に対する認識	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
7	20番 長田吉信  *一問一答	<p>1 マイナンバーカード及びマイナ保険証の普及と利用促進等について</p> <p>(1) マイナンバーカードの現状について</p> <p>① これまでのマイナンバーカード普及促進への取組</p> <p>② マイナンバーカードの申請及び交付状況</p> <p>③ マイナンバーカードの交付状況に対する認識</p> <p>(2) マイナンバーカード及びマイナ保険証の活用について</p> <p>① 避難者支援業務へのマイナンバーカードの活用</p> <p>② マイナ保険証のメリット</p> <p>③ マイナ保険証活用に対する認識</p> <p>(3) マイナ保険証の利用促進に向けた取組</p> <p>① 利用促進に向けた広報</p> <p>② 今後の利用促進に向けた取組</p> <p>(4) マイナンバーカード未保有者への対応</p> <p>① 未保有者の状況</p> <p>② 国の取得支援事業</p> <p>③ 高齢者施設等に対するマイナンバーカードの取得支援の取組状況</p> <p>④ 高齢者などに対する取得支援の取組状況</p> <p>⑤ 未保有者への取得に向けた認識</p> <p>(5) マイナンバーカード等を利用した行政手続について</p> <p>① 自治体業務のDX化の現状</p> <p>② 書かない窓口、行かない窓口についての現状</p> <p>③ 行政手続におけるDX化に向けた認識</p> <p>2 地方就職学生支援事業について</p> <p>(1) 沼津市就職学生支援交通費補助金について</p> <p>① 事業の概要</p> <p>② 期待される効果</p> <p>③ 実施状況</p> <p>(2) 移住する際にかかる移転費支援について</p> <p>① 今後の見通し</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
8	4番 堤 飛 鳥  *一括方式	1 本市における災害廃棄物の対応について (1) 災害廃棄物に対する本市の認識 ① 災害時の初動対応 ② 現在の災害廃棄物の仮置場 ③ 今後の災害廃棄物仮置場の選定と見直し ④ 災害時における自治会や産業廃棄物業者等との連携 2 本市における粗大ごみのリユースについて (1) 本市のリユースに対する認識と現状 (2) 今後の対応と課題	市長 関係部長

令和6年9月25日(水) 午前10時から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
9	7番 浅田 美重子  *一括方式	1 不登校児童生徒への対応について (1) 不登校傾向の表れに対する初動対応 (2) 別室登校の児童生徒への対応 (3) 今後の取組 2 HPVワクチンに関する男性への周知・啓発及び 接種費用の助成について (1) 男性への周知・啓発の取組 (2) 接種費用の助成制度導入に対する認識	市長 教育長 関係部長
10	27番 植松 恭一  *一問一答	1 これからの本市の防災対策について (1) 防災対策や計画の見直しの必要性 2 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金に ついて (1) 沼津夜間救急医療センターと運営法人・関係市 町との関係 (2) 使途不明金判明の経緯やこれまでの経過 (3) 使途不明金の要因や再発防止策 ① 使途不明金が発生した要因 ② 本市による沼津夜間救急医療対策協会に対す る監査 ③ 年度モニタリングの確認内容 ④ 外部モニタリングの確認内容 ⑤ 沼津夜間救急医療対策協会への県の立入検査 に対する認識 ⑥ 沼津夜間救急医療センターに対する本市職員 による業務確認 ⑦ 沼津夜間救急医療対策協会監事による会計監 査に対する認識 ⑧ 沼津夜間救急医療対策協会や本市の職員が、 金融機関口座を確認できなかった理由 ⑨ 沼津夜間救急医療対策協会の再発防止策に対 する認識 ⑩ 本市の再発防止策 (4) 今後の予定 ① 使途不明金の内訳とその補償 ② 本市の今後の対応 (5) 被害額の回収の見込み ① 使途不明金の回収見込み ② 沼津夜間救急医療対策協会への被害額返還請 求に対する民事訴訟の考え	市長 関係部長



順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
		<p>(6) 令和5年度決算への影響</p> <p>① 沼津夜間救急医療対策協会の令和5年度決算に対する認識</p> <p>② 本市の令和5年度決算への影響</p> <p>③ 3市3町の負担金に対する認識</p> <p>④ 2市3町への使途不明金返還についての考え</p> <p>(7) 本市の責任</p> <p>① 指定管理者としての本市の責任</p> <p>② 最終責任者の明確化</p> <p>3 指定管理者制度について</p> <p>(1) 指定管理者制度の導入効果</p> <p>(2) 指定管理者制度の導入施設数</p> <p>(3) 指定管理者制度の導入施設の指定管理料</p> <p>(4) 指定管理者制度の運用における基準と規程</p> <p>(5) 指定管理者の利益</p> <p>(6) 指定管理者制度の運用に対する評価と管理方法</p> <p>(7) 外部モニタリングの実施方法</p> <p>(8) 指定管理料や施設利用料等の管理に対する確認方法</p> <p>(9) 不正検出の仕組み</p> <p>(10) 指定管理施設の責任の所在</p> <p>(11) 指定管理者制度の適正な運用に対する認識</p>	
11	<p>17番 江本浩二</p> <p>*一問一答</p>	<p>1 沼津市立病院における点滴チューブ切断・カテーテル抜き去り事件について</p> <p>(1) 事件の概要</p> <p>(2) 被害に遭われた患者さんへの対応</p> <p>(3) 病院を利用する患者さん、市民に及ぼす影響</p> <p>(4) 初期時点で記者会見を行わなかった理由</p> <p>(5) その評価</p> <p>(6) 病院の調査</p> <p>(7) その評価</p> <p>(8) 依願退職を認めた理由</p> <p>(9) その評価</p> <p>(10) 関係者の管理責任</p> <p>(11) 市民、関係者、患者さんへの謝罪</p> <p>(12) 再発防止の決意と方策</p>	市長 病院長 関係部長

令和6年9月25日(水) 午後から

1 2	18番 山下 富美子  *複合方式	1 沼津市における女性職員の活躍推進について (1) 女性職員の管理職登用率 (2) 女性職員の管理職登用率向上に向けた今後の取組 2 沼津夜間救急医療センターの使途不明金事件について (1) 組織の概要と運営体制 (2) 使途不明金の発覚と対応 (3) 県の立入検査及び外部の指摘事項に対する認識 (4) 事件の原因究明 (5) 課題と取組 (6) 沼津市の責務	市 長 関 係 部 長
1 3	1 番 川 口 慶  *一括方式	1 本市西部地域のまちづくりについて (1) 新貨物ターミナルの建設に向けて ① 物流拠点への基本的な認識 ② 新貨物ターミナルの位置づけ (2) 物流企業誘致への認識 ① 企業誘致の取組 ② 土地利用についての認識 (3) 道路整備への認識 (4) 農業への認識 ① 植物工場の効果 ② 同様施設の誘致への認識	市 長 関 係 部 長
1 4	13番 久保田 吉光  *一括方式	1 本市ホームページにおける情報発信について (1) 電子地図情報を活用した情報発信について ① 他市町の事例の認識とその評価 ② 導入の可能性 2 盛土規制について (1) 本市における不適切盛土 ① 災害防止及び生活環境保全の2つの目的に係る不適切盛土の現状と認識 ② 盛土条例の改正内容と効果 (2) 令和5年5月26日施行の盛土規制法 ① 盛土規制法が施行されたことによる本市への影響 ② 規制区域指定に向けた静岡県による基礎調査の結果と本市の対応	市 長 関 係 部 長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
15	11番 平野 謙  *一問一答	<p>1 サンウェルぬまづの活用について</p> <p>(1) サンウェルぬまづの設置目的についての認識</p> <p>(2) 利用状況について</p> <p>① 全体の利用状況</p> <p>ア コロナ禍前後の稼働率比較</p> <p>イ 利用状況に対する認識</p> <p>ウ 利用者からの要望の状況</p> <p>② 3階フリースペースの利用方法について</p> <p>ア 設置目的</p> <p>イ 利用状況</p> <p>ウ 今後の取組</p> <p>③ 1階喫茶コーナーの活用について</p> <p>ア これまでの経緯</p> <p>イ 現状</p> <p>ウ 今後の活用方針</p> <p>④ 使用料について</p> <p>ア 使用に当たっての基準</p> <p>イ 使用料についての認識</p> <p>⑤ さらなる活用に向けた取組</p> <p>2 AEDの設置について</p> <p>(1) AED設置の意義</p> <p>(2) 市内における設置状況</p> <p>① 市内における設置数とその推移</p> <p>ア 公共施設</p> <p>イ 民間事業所</p> <p>② 近年の活用実績</p> <p>③ 夜間に利用可能なAEDの設置数とその推移</p> <p>④ 1か所当たりの設置費用</p> <p>(3) 今後の取組における課題と本市の認識</p> <p>① 全体の設置数を増やすための取組</p> <p>② 夜間に利用可能なAEDを増やすための取組</p> <p>③ 市民に分かりやすい周知方法</p> <p>④ 活用に当たっての必要な配慮</p> <p>⑤ 今後の認識</p>	市長 関係部長